

港湾振興便り



2017. 8

第123号

*:

目 次

*:

1 ポートエッセイ

ー北前船の日本遺産認定を機に

日本海縦貫観光ルートづくりへー

～日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 篠田 昭～

2 トピック

- 石巻港開港50周年記念式典を開催～未来へ向かって新たな船出～

(石巻市 建設部河川港湾室)

- 「2017 発見！酒田みなとの探検隊」を開催しました！

(山形県県土整備部港湾事務所)

- 「第2回富山湾ふれあいビーチフェスティバル」が開催されました。

(北陸地方整備局 伏木富山港湾事務所)

- 「第32回東京湾クリーンアップ大作戦 -きれいな海をまもる船 大公開 in 横浜港 -」を開催しました！

(関東地方整備局 本局、千葉港湾事務所

京浜港湾事務所、横浜港湾空港技術調査事務所)

- 海面清掃線おんど2000(船員6名)、応急対策班(航路啓開)2名を九州地方整備局管内(周防灘海域)へ派遣

(中国地方整備局 広島港湾・空港整備事務所)

- みなとオアシス久礼 オープン！

(四国地方整備局 高知港湾・空港整備事務所)

- 「みなとオアシスほそしま」登録証の交付式が開催されました

(日向市 商工観光部商工港湾課)

- 江差町は港湾協力団体を指定しました

(江差町産業振興課)

3 お知らせ

◇宮古・室蘭フェリーフェスティバル2017

◇宮古と室蘭の歴史のつながりをさぐる

*:

1 ポートエッセイ

—北前船の日本遺産認定を機に

日本海縦貫観光ルートづくりへ—

～日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 篠田 昭～

*:

全国各地で豪雨被害が相次いでいる。犠牲になられた方々に哀悼の誠を捧げると共に、被害に遭われた地域にお見舞いを申し上げます。一刻も早く安定した夏空が訪れることを祈念しています。

(クルーズ船誘致で大同団結)

さて、今年もクルーズ船の伸びが目覚ましいようだ。日本海側では金沢まではクルーズの増加が目覚ましいが、私の地元の新潟港などは大型船が昨年からは寄港可能になったこともあって出遅れている状況だ。日本海側の金沢以北にクルーズ船を誘致しようと先日、高岡、新潟、酒田、秋田、函館市の港湾、観光・誘客担当者が情報共有のための会議を開いた。先進地の函館から多くのことを学びながら、日本海北部にクルーズ船を運航いただくネットワークをつくろうとの試みだ。

(北前船ルートを復活)

一方では今春、北前船の寄港地・船主集落が「日本遺産」に認定されたのを機に、「現代の北前船」とも言うべき日本海縦貫観光ルートをつくろうとの動きも出てきた。江戸時代から明治にかけて、北海道から日本海沿岸を結び、下関から瀬戸内に入り商都・大坂までをつないだ北前船は物流の主役であり、北前船寄港地は連携して西廻り航路を形成していた。

しかし、現在では「日本海沿岸ほど行き来に不便なところはない」と自嘲する状況だ。日本で新潟から一番行きにくいところは京都や兵庫の日本海側かもしれない。「何とか日本海沿岸のネットワークを復活させたい」と思っていたところ、あるバス会社から「日本海縦貫観光ルートをつくりませんか」とのお誘いを受けた。

新潟—敦賀間を運行している新日本海フェリーは今年、新造船2隻を就航(新潟—小樽間)させ日本海クルーズの役割を果たしてくれている。「敦賀—舞鶴—豊岡をバスで結べば、相当強力なネットワークができるのでは」とのアイデアだ。

(4市長が発起人に)

この構想に豊岡、舞鶴、敦賀の市長も賛同していただいた。近く私を含めた4市長が発起人となって「日本海観光縦貫観光ルート」の旗を立てようと思う。「現代の北前船・北前バス」が日本海沿岸をつなぐ夢を実現させたい。

*:

2 トピック

*:

●石巻港開港50周年記念式典を開催～未来へ向かって新たな船出～

(石巻市 建設部河川港湾室)

平成29年7月12日、石巻港開港50周年記念式典が多数の関係者の出席を頂きまして、華々しく執り行われました。

式典では、亀山石巻市長の主催者挨拶の後、津田東北地方整備局長をはじめ来賓の方々からご祝辞を頂き、その後長年にわたり石巻港の発展に寄与された方々への表彰式が行なわれました。また、国土技術政策総合研究所の諸星管理調整部長から「港を活かして地域づくり」と題してのご講演も賜りました。

式典後のレセプション時には、石巻市指定無形民俗文化財である石巻市渡波（わたのは）地区の郷土芸能の踊りが披露され、会場は盛り上がりました。また、石巻港開港50周年の歩みの映像が会場内のスクリーンに映し出されると、出席者は思い出話に花を咲かせていました。

石巻港開港50周年の節目をきっかけとして、石巻港の更なる発展に向けた新たな一歩を踏み出すことで、関係者は心をひとつにしていました。



功労者の皆様と記念撮影



ししふりじゅく
「渡波獅子風流 塾」による50周年お祝い舞い

●「2017発見！酒田みなとの探検隊」を開催しました！

(山形県県土整備部港湾事務所)

7月15日（土）、県内の小学生と保護者を対象にした「2017 発見！酒田みなとの探検隊」を開催しました。この行事では「みなと」の学習や酒田海洋センターの見学、波消しブロックお絵かき体験、酒田港クルーズを通して、参加者の皆様に酒田港と本県の海に対する理解を深めていただきました。当日は55名の親子が参加し、賑やかな行事になりました。

「みなと」の学習では、日本の貿易による取扱量の90%以上が港湾を利用していることや、酒田港に入港する船の種類、防波堤の役割などを学びました。酒田海洋センターでは、北前船のコーナーや、大きな模型、酒田港の昔と今の姿を紹介するパネルなどを見ながら、身近な港と海の大切さを改めて感じていただきました。

波消しブロックお絵かき体験では、酒田港のブロックヤードで、高さ4mほどの大きなブロッ

クを間近に見ながら、6色のペンキで動物や花など好きなものを思い思いに描き、完成後には、全員で記念撮影をしました。

酒田港クルーズでは、酒田市の「定期船とびしま」に乗船し、港湾施設についての説明放送を聴きながら、海からの景色を楽しんでいただきました。爽やかな潮風と穏やかな海という絶好の条件でのクルーズとなりました。

（主催：山形県、山形県港湾協会、NPO法人酒田港女みなと会議、共催：国土交通省東北地整備局酒田港湾事務所）



「みなと」の学習



酒田海洋センター見学



波消しブロックお絵かき体験



酒田港クルーズ

●「第2回富山湾ふれあいビーチフェスティバル」が開催されました。

（北陸地方整備局 伏木富山港湾事務所）

平成29年8月6日（日）、富山市岩瀬浜海水浴場において、「第2回富山湾ふれあいビーチフェスティバル」が開催されました。

本フェスティバルは、富山湾を愛する人々が富山湾の海岸をレクリエーション活動の一つの場として更に活用し、富山県民の心の故郷となり、更に愛される海岸となることを願い、地元関係者等からなる実行委員会により、初開催の去年に引き続き2回目の開催となります。

当日は快晴のもと、岩瀬浜ビーチクリーンアップ（海岸清掃）から始まり、ビーチヨガ、フライングディスク、ビーチ空手などの体験コーナーや伏木海上保安部による海辺の安全教室のほか、富山湾CUPビーチバレーボール大会、富山湾CUPビーチアルティメット大会が行われ、約300人が参加し、大いに賑わいました。

オープニングセレモニーでは地元選出の田畑衆議院議員より、富山湾の魅力をここに住む我々がしっかり理解し、情報発信をしていくことがとても重要との挨拶がありました。



【ビーチクリーンアップ】



【ビーチヨガ】



【ビーチ空手】



【ビーチバレーボール大会】



【ビーチアルティメット大会】



【海辺の安全教室】



【フェスティバル参加者で記念撮影】

●「第32回東京湾クリーンアップ大作戦 -きれいな海をまもる船 大公開 in 横浜港 -」を開催しました！

（関東地方整備局本局）

（千葉港湾事務所）

（京浜港湾事務所）

（横浜港湾空港技術調査事務所）

東京湾クリーンアップ大作戦は、国や自治体が行っている東京湾の清掃活動を皆さんにPRし、東京湾における環境保全の意識向上を図るため、海の月間に合わせて実施している活動です。この活動の一環である「きれいな海をまもる船 大公開 in 横浜港」を、7月22日（土）に関東地方整備局、第三管区海上保安本部、横浜市の共催で開催しました。

横浜港新港ふ頭5号岸壁にて、関東地方整備局所属の清掃兼油回収船「べいくりん」、第三管区海上保安本部所属の消防船「ひりゆう」、横浜市消防局鶴見水上出張所の消防艇「まもり」の船内見学や横浜市港湾局所属の清掃船「青海丸」の展示及び海洋環境整備に関するパネル展示等を行いました。

当日は、大型ゴミ回収のデモンストレーションや回収したゴミの展示等を行い、250名の方が「べいくりん」の船内見学をされ、浮遊ゴミ回収の重要性や東京湾の環境について理解を深めていただきました。



清掃船等の展示の様様

左より、「ひりゆう、まもり、べいくりん、青海丸」



「べいくりん」 船内見学



「べいくりん」による漂流物回収のデモンストレーション



東京湾で回収された大型漂流物の展示

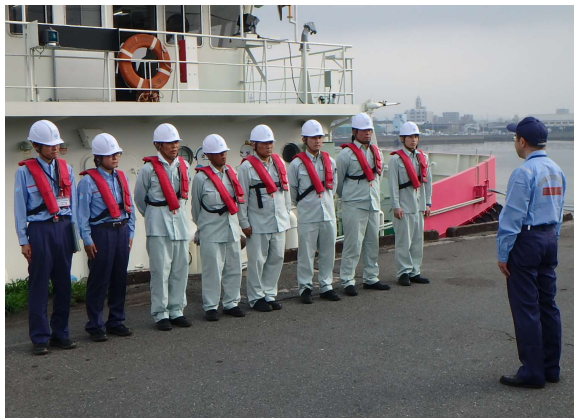
●海面清掃線おんど２０００（船員６名）、応急対策班（航路啓開）２名を九州地方整備局管内（周防灘海域）へ派遣

（中国地方整備局 広島港湾・空港整備事務所）

九州地方での梅雨前線に伴う豪雨災害に関して緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）『応急対策班（航路啓開）』の派遣に伴い、おんど２０００が周防灘海域での流木・漂流ゴミの回収に出発しました。今回、おんど２０００の通常の担務海域を越えて回収を行いました。

７月１３日には宇部港で出発式が開催され、中国地方整備局副局長より回収に向かう船員たちへの激励の挨拶、海洋環境・防災課長より派遣への決意表明が行われました。

３日間の活動で、流木２３１本、葦類５１㎡を回収しました。



●みなとオアシス久礼 オープン！

(四国地方整備局高知港湾・空港整備事務所)

全国94箇所目のみなとオアシスとして登録された「みなとオアシス久礼」(登録は本年4月)の登録証伝達式が、7月6日に代表施設「道の駅なかとさ」の完成に合わせて行われました。

高知県西部の中土佐町にある同オアシスは、「道の駅なかとさ」以外に、大正町市場、黒潮本陣、ふるさと海岸、津波避難タワー等の施設から構成されており、久礼の美味しい魚介類を楽しめたり、漁師町らしい雰囲気を感じることができます。

7月15日のグランドオープン後、夏休みシーズンに入り多くの家族連れが訪れております。皆さまもぜひお越し下さい。

中土佐町ホームページ

<http://www.town.nakatosa.lg.jp/>



みなとオアシス登録証を掲げる
池田洋光 中土佐町長



H29. 7. 6落成式の様子



賑わいの様子

●「みなとオアシスほそしま」登録証の交付式が開催されました

(日向市 商工観光部商工港湾課)

7月7日に「みなとオアシスほそしま」が全国で97番目、宮崎県では初めての「みなとオアシス」に登録されたことを受け、地元的一大イベント「細島みなと祭り」最終日の16日、登録証の交付式が開催されました。

交付式では、地元選出国会議員や宮崎県知事、日向市長をはじめとする来賓の出席のもと、国土交通省浅輪大臣官房技術参事官から「みなとオアシスほそしま協議会」の河野会長に登録証が手渡され、河野会長からは「決意新たに、歴史と文化のあるこの港町を、次の世代につなげられるよう、新しい一歩を踏み出したい」と力強いあいさつがありました。

今後は、同協議会とオアシスを中心として、さらなる港を核としたまちづくりに取り組んでいきます。



左 河野協議会会長

右 浅輪大臣官房技術参事官



祭りの様子・：太鼓台組み合わせ



●江差町は港湾協力団体を指定しました。

(江差町産業振興課)

この度、江差町では、港湾協力団体として「一般財団法人 開陽丸青少年センター」を7月28日に指定し、8月1日に江差町役場内で指定証の手交式を執り行いました。

今回指定された団体は、みなとオアシスを構成する開陽丸青少年センターなどでイベントや各種活動に取り組み、みなとオアシス運営にも携わっています。

開陽丸青少年センター館長の高橋氏は「今後も各種イベントに協力し、集約効果による港湾区域内の賑わい創出に協力していきたい。」と意欲的なコメントをされました。



手交状況（左：照井町長 右：高橋館長）



姥神大神宮渡御祭



産業まつり

3 お知らせ

◇宮古・室蘭フェリーフェスティバル2017

開催日時 : 平成29年8月26日(土) 10時～17時

開催場所 : みなとオアシスみやこ、シートピアなあとど

主催 : 宮古港フェリー利用促進協議会・室蘭市・宮古市

問い合わせ先：宮古市産業振興部観光港湾課港湾振興室 電話 0193-68-9093

Webページ : <http://www.city.miyako.iwate.jp/>

◇宮古と室蘭の歴史のつながりをさぐる

実施内容： 歴史講演会

「宮古の歴史を知る～縄文と復興調査」

「江戸時代の宮古港と北方警備」

開催日時：平成29年8月26日(土) 13時30分～15時30分

開催場所 : ミンクール(室蘭市・胆振地方男女平等参画センター)

主催 : 宮古港フェリー利用促進協議会・室蘭市・宮古市

問い合わせ先：室蘭市教育委員会 生涯学習課 電話 0143-22-5094

Webページ : <http://www.city.muroran.lg.jp/>

::*: 本メールマガジンに関するお問合せやご意見、また情報の送り先 :*:~::~

日本港湾振興団体連合会事務局

〒105-0002 港区愛宕1-3-4

TEL:03-5776-0630 FAX:03-5776-0631

e-mail: bcf06323@nifty.com

[illegible]